

平成 30 年度 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会(案)

日 時：平成 31 年 3 月 10 日（日）13 時～17 時

場 所：神戸大学病院 第一会議室

総合司会：原子力安全技術センター

13:00～

【開会挨拶】

(公社) 兵庫県放射線技師会 会長 清水 操

13:05～14:30

【講 演】

1 「原子力発電所の災害における現状と対策」

関西電力株式会社神戸支社 加藤 秀雄

2 「原子力災害医療について」

福山大学工学部情報工学科教授 占部 逸正

3 「原子力災害時の広域避難について」

関西広域連合広域防災局

広域企画課 課長補佐 宮本 学

～（休憩 10 分）～

14:40～15:40

【講 義】

1 「避難退域時検査及び除染について」

(公財) 原子力安全技術センター

原子力防災部 部長 土岐 邦彰

2 「放射線測定装置の使用方法及び測定方法」

(公財) 原子力安全技術センター

原子力防災部防災研修グループ 主幹 梅山 信昭

3 原子力災害の被ばくに関する Q & A

(公財) 原子力安全技術センター

原子力防災部 部長 土岐 邦彰

～（実習準備 10 分）～

15:50～16:50

【実 習】

1 「GMサーベイメータを使用した検査実習」

(公社) 兵庫県放射線技師会

担当 後藤、大鳥、田和、細岡

16:50～

【閉会挨拶】

関西広域連合広域防災局広域企画課長 中道 一義

(公社) 兵庫県放射線技師会 副会長 半部 英敏